多文化をささえる人びと

足元から多文化共生を積み上げる

世代交代したAPFSの今とこれから

ニューカマー外国人が急増した1980年代後半、日本人住民と外国籍住民の「相互扶助」の理念のもと、東京の板橋区で産声をあげたAPFS（Asian People's Friendship Society）。設立20年余を経て、この春世代交代した若手リーダーたちに同団体の今とこれからを聞いた。

渡戸（わたど） 一郎（いちろう）
明星大学教授

在留特別許可取得行動をささえる

APFSといえば、一九九九年初秋から三次にわたっておこなわれた、「在留特別許可取得一斉出頭行動」でご存じの方もいるかもしれない。日本ですでに長期間非正規に滞在している家族や単身者たちが、退去強制されるリスクを覚悟のうえで、在留資格の正規化を求めて法務省入管局に集団出頭した行動を、全面的に支援し、全国規模の運動を展開したのだ。そのうち一定数の家族が在留特別許可をえた。こう書くと、APFSが戦闘的な社会運動団体であるかのように聞こえるかも知れないが、じつはこの運動は、九〇年代前半から労働・生活面で非正規滞在外国人の相談を受け、支援を重ねた結果から必然的に生まれたものだった。「長年真面目に暮らし働いてきたこれらの人びとの日本滞在を、世紀が変わる前に政府に認めてもらいたい」。その願いは一定程度認められ、以後、入管局も「在留特別許可のガイドライン」などを発表するようになった。

当事者性の尊重に立つ活動

身近な「隣人」としての外国籍住民とともにつくる社会を目指すAPFSの会員は、累計で三三五〇人にのぼる。役員構成も多国籍で、フィリピン・ビルマ・バングラデシュ・パキスタン・イランからの外国人九人と日本人四人。平均して一五～一六人いるボランティアは外国人・日本人半々だ。

APFSの日常活動は、(1)外国人相談と(2)多文化共生に関するイベントの開催を車の両輪としている。相談は在留資格の有無にかかわりなく受け、年間一〇〇〇件前後で推移しているが、定住化の進展を背景に相談内容が多様化している。一方、イベントの方は、①地元商店街などとともにおこなう「アジアンフェア」、②移住労働者問題のシンポジウム、③当事者である外国籍会員主体の「シェア・ミーティング」の三つからなる。とくに「シェア・ミーティング」は月一回開かれ、毎回二〇～三〇人の参加がある。これまでに話しあったトピックは子育て、子どもとのコミュニケーション、日本の教育システム、PTAと町内会、防災、老後、仕事だが、特に年金と医療制度についてもっと知りたいという要望が多かったという。今後、リーダーの人材育成講座を通じて自助活動に発展することが期待されている。

組織の強みと課題

今年度から代表、副代表となった加藤丈太郎さんと吉田真由美さんによると、APFSの強みは、当事者とともに活動し問題解決に取り組んでいること、また「顔の見える関係」を通して各外国人コミュニティと直接つながり、当事者のニーズが把握できることだという。この背景には、相談をもち込んだ人が問題解決後もボランティアとして相談活動などに参加していることが大きい。

一方、課題も多い。まず、目の前の多くの問題に追われて、中長期的な視点に立つ活動のための分析に手が回らないことだ。また、非正規滞在者問題に取り組むなかで、いかにして支援の輪を広げていくかも課題となっている。こうしたことを踏まえ、APFSはNPO法人格取得により組織基盤を整え、近い将来に有給の外国人スタッフを置くことを計画している。また、子ども、DVを受けた女性、難民などに対する相談にも取り組みたいという。

「個」を起点に足元からの多文化共生を

最後に若いリーダーのお二人に、これまでの活動経験を踏まえて、多文化共生についての考えをうかがった。「目の前の外国人と日本人がひとつひとつ関係を積み上げていくこと。そこには摩擦も起きるかもしれないが、それも含めて相互に理解し合っていくこと」と加藤さん。一方、吉田さんの回答は「日本人同士でも多様なことを踏まえて、〈いろんな人がいて当然の社会だ〉ということを皆が理解していくこと」。具体的には、例えば非正規滞在の外国人でも、子どもの教育に熱心な父親だったり、仕事の熟練者だったりと、多面的な側面をもつ「個人としての外国人」であることをどのようにして社会に見せていくかが課題だと、強調されていたのが印象的だった。

こうしてインタビューするうちにも、狭いAPFSの事務所には外国人、日本人のボランティアスタッフたちが次々にやってくる。しかし活気あるこの事務所はいまや手狭だ。複数の助成金など、さまざまな資金源を確保しながら運営されてきたAPFSがさらに発展していくためには、相談コーナー、たまり場スペースをもつ事務所の拡張が課題だ。だが、そのための財源確保は簡単ではない。

外国につながる子どもたちを応援するコンサート

アジアンフェア

クリスマスパーティ

在留許可を求める銀座パレード